

不正

んだ

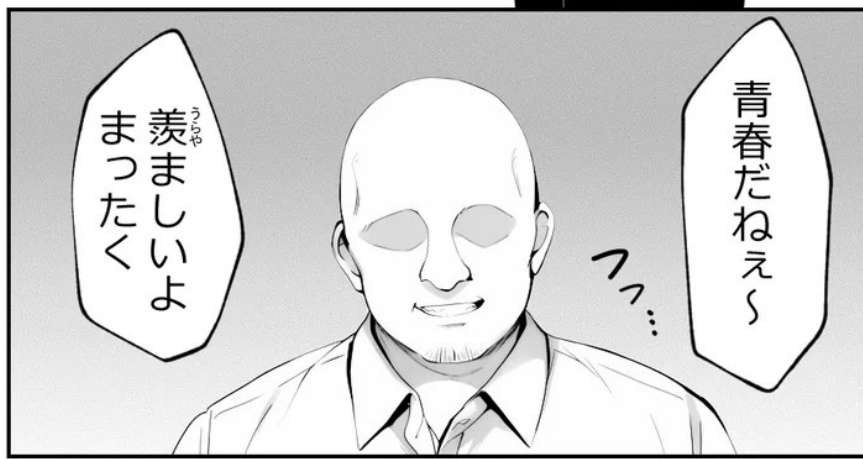
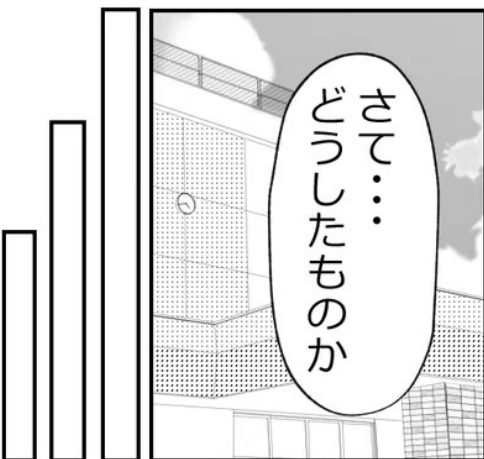
おじさん

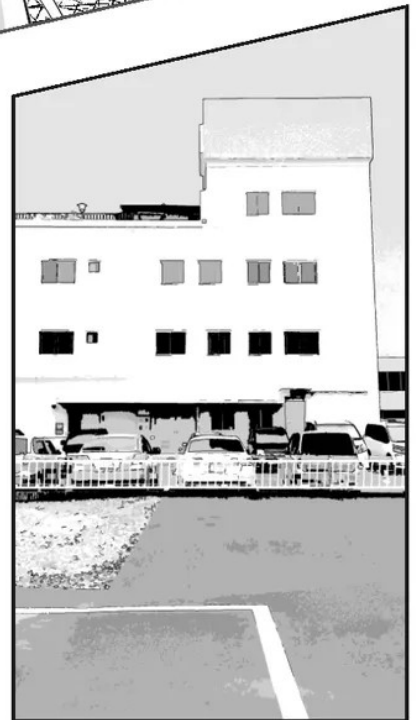
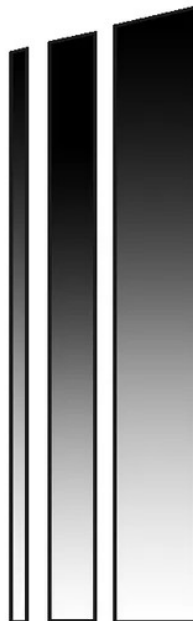
と



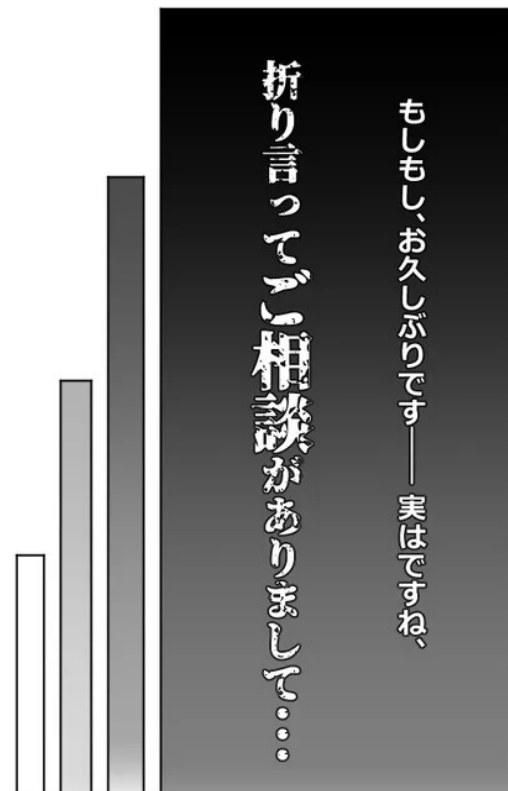
ギヤル

ちゃん











まあ、それはいいか

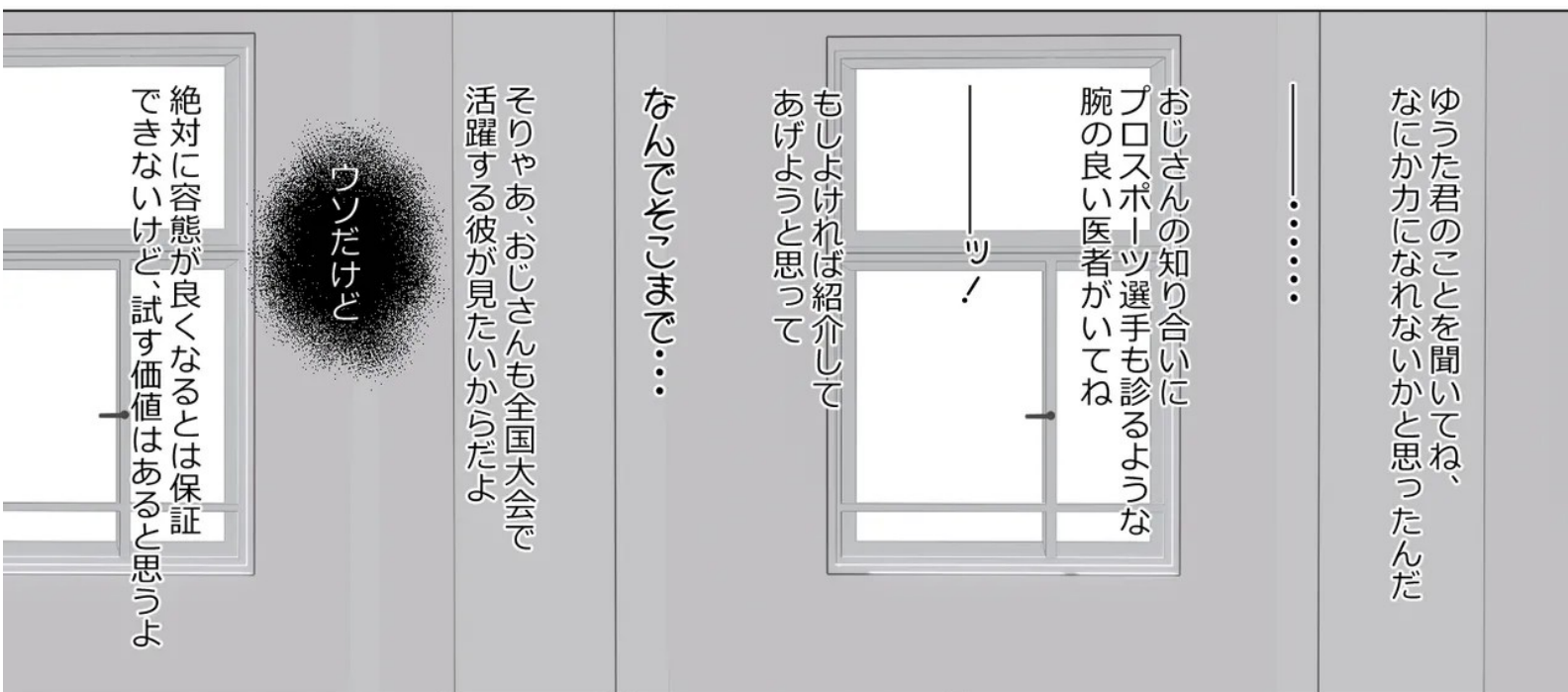
一応、非常勤とはいえ、ここの教師
なんだけど...



おじさん、誰？

なんで私の名前...

しかも、ちゃん付け...



ゆうた君のことを聞いてね、
なにか力になれるかと思ったんだ

.....

おじさんの知り合いに
プロスポーツ選手も診るような
腕の良い医者がいてね

ッ！

もしよければ紹介して
あげようと思って

なんでそこまで...

そりゃあ、おじさんも全国大会で
活躍する彼が見たいからだよ

ワソだけど

絶対に容態が良くなるとは保証
できないけど、試す価値はあると思うよ



それじゃあ...
お願いしてもいいですか？

もちろん
明日には診てもらえるように
頼んでおくよ

信じていいのかな...？

次の日、私とゆうたが聞いたのは
まさに良いニュースと悪いニュースだった

大会までにケガの完治は難しいが、
満足に試合ができる状態にはできるらしい
思いがけない朗報に二人で喜びあう
しかしその時間はすぐに終わった
そのためにはまだこの国で承認されていない
治療法が必要なため、保険が適用されず、
費用が150万かかるということ
そんな大金を用意できるはずもなく、
わずかに見えた希望はあっけなく消えた……

バン

はあ……

どき

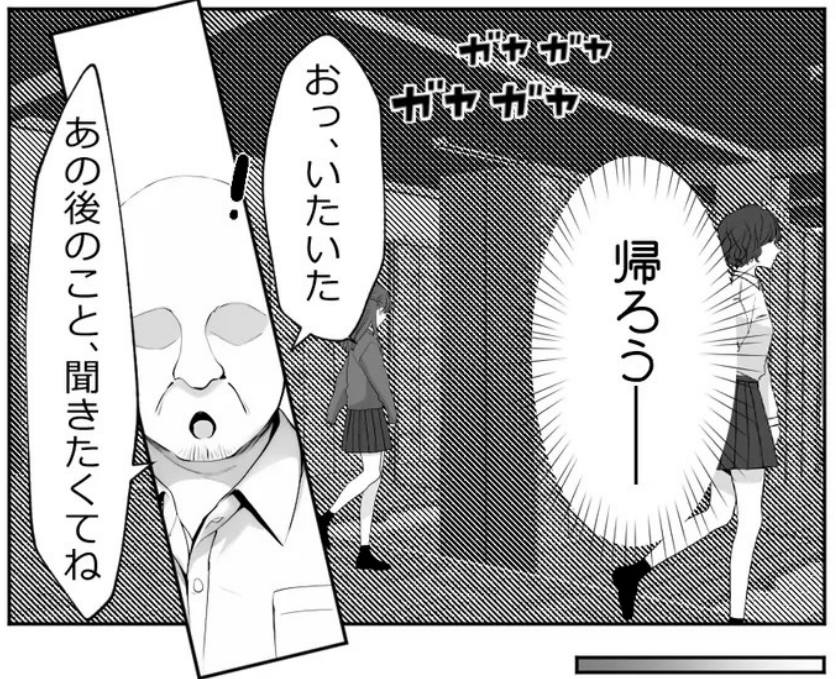
結局、進展なし

150万って……

無茶言わないでよ

はい

試合に出れるって聞いたときの
ゆうた、嬉しそうだったな……



150万っ!?

なんてな

俺がそう言うように
先生に頼んだんだ

実際の治療費はその十分の一
程度なんだけどな

それは、大金だね……

まあ、そんな都合のいい話
なんて、そうそうないのかなって

……

仕方、ないよね……

一つ提案があるんだけどさ……

治療費、おじさんが立て替えようか？

は、はあ？　なんで……？

意味わかんないんだけど

あくまで立て替えるだけで、
ちゃんと返してもらっけど

返すって……私に150万用意
しろってこと？

まあ、学生のあかねちゃんにそれは
難しいよね

だからさ、身・体・で返すのはどう？

身体って……

いいっ……

チーン

ば、ばかじゃないの!?

が ああま

するわけ無いでしょ、そんなこと!

それじゃアルバイト
して返す?

それとも彼のことは
諦める?

それは……っ

ぎゅっ…

まあ、おじさんも
無理強いしたいわけじゃない

あかねちゃんが
嫌ならいいんだ

彼のケガもいずれは
治るしね、ただ現役最後の
大会に出られないって
だけで――

変なこと言っでごめんね
おじさん、もう行くよ

待つて!!



まだなにか用があるのかい？



条件があるんだけど

条件？

最後までしなくていいなら、
考えてもいい……さっきのやつ

それはつまり、
本番はなشتてことかな？

ぽんぽん

ほ、ほん——ッ！？

かあ

そ、そうよ……っ！
それがダメなら——

いいよ、それでも

今は、ね……

取引成立でいいのかな？

いい、わよ……
ちゃんと約束守ってよね

じゃあ、
さっそくしてもらおうかな

はあ……？

……ですもの……？

ほらほら、取引するんでしょ







めっちゃ♡
ダメとは言わないが、
このままではイケないな...

んっふっ...ちゅれるっ...

膨れ上がったおちんちんに
口の中をかき回されると、不快感で
吐き出しそうになる
そのたびに、全てはゆうたのためだと
自分に言い聞かせた



こびっ、こびっ、こびっ...
ぢゅっ、ぢゅっ、ぢゅっ...

ゆつくりと頭を前後させ、
頬の粘膜や濡れた舌の感触を味わう
あまり機嫌を損ねて取引がボツになるのは
避けたいので、激しくしすぎないようにする



かあぁぁ*

見せてくれたら、
3万返済にするからさ

それに、早く終わると思うよ

いきなり何を言い出だすのよ!

はあああッ——！？！？！



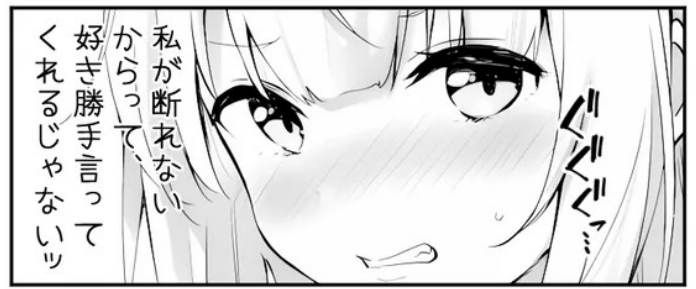
ムズ...

あかねちゃんさあ——

...なによ?

おっぱい見せてくれない?

ちゅぽん



舌のざらざらした感触が、敏感な部分を撫で回す
決して上手い訳では無い、しかし必死に射精を促すような
口淫にぐっぐつとしたものが込み上げてくる

ちゅる、れろ！ じゅるるっ！

いゅるるっ♡

いゅるるっ♡

ちゅるる

慣れてきたのか、最初より息苦しさが薄れてくる
彼氏でもない人のものを、よだれがこぼれるのも
構わず舐めしゃぶる

はっ

そろそろ出そうだよ、あかねちゃん
制服汚さないよう口に出すよ！

グッホッ！

なっ……！ このまま出す気なの……？
でも制服汚れるのは困るし……

グッホッ！

ちゅっほ、じゅっほっ！

グッホッ！

高まる射精感のままに腰を突き出し、
ぐぼぐぼと彼女の熱い口内を蹂躪する
そして射精衝動が全身を駆け抜けた時、
限界まで溜まった精液を撃ち放った

ちよつとした出来心から腰を動かし、
ペニスを口から引き抜く――

ちゅぽん!

ティッシュを取り出そうとしたとき、
急におちんちんを引き抜かれ、口からあふれた
大量の精液が制服や下着を汚していく

はー♡

はー♡

!!

ドロドロ
ゴボゴボ

ゴボゴボ
びちゃ

ドロドロ

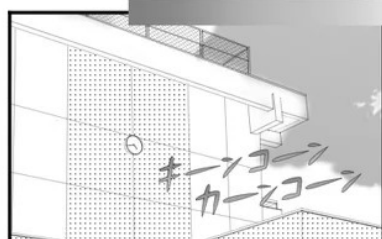
サイテー……

ちゃんとしたんだから、
約束守ってよね……

フイッ

彼の治療が進められる額を払っておくよ
残りはあかねちゃん次第ってことで

そして私とおじさんの
誰にも言えない取引が始まった



ほらほら、早く終わらせたいでしょ？
それに今日の返済は5万のつもりだよ

はぁはぁはぁっ！





まずはちんぽ
取り出して
もらわないと

私がやるの!?

今日の取引は
もう始まってるよ

...

カキカキ



また、あんなに大きくなってる...



そんなところでむくれてないで、
こっちきなよ

むー...
なんか納得いかない...



これで、いいの?

びくびくと震える肉棒を柔らかな双丘が包みこんでいく
ヘニスに絡みつくように吸い付くそれは、人肌で温められた
ゼリーのようだ

まずはそのまま
ちんぽを全部挟んで

熱くそそり立ったものの感触が
胸から伝わってくる
取引のためとはいえ、こんなことを
している自分に嫌気が差す



ぐにゆぐにゆと唾液に濡れた
ペニスを谷間へ押し付ける
柔らかな乳肉に亀頭が擦れ
痺れるような快感が駆け抜けた





唾液と先走り汁でドロドロになった合間で肉棒をしごきたび、卑猥な水音が立つと同時に吸い付くような柔乳を揉みしだくと湧き上がる興奮に突き動かされより激しくヘニスを擦り付ける



豊かな乳房で肉棒を包みこみ、濡れた柔肉の中を前後にしごとと湧けるような快感が襲う限界を訴えるようにヘニスが震え始め心臓がドクドクと脈打つのを感じる

胸から全身にふわふわとした快感が拡がり頭がぼーっとしてくる

あっ…あっ…いびきいびき…

出すよー! あかねちゃん!!



身体を駆け抜ける快感に腰を震わせながら、びちゃびちゃと白濁液をぶちまける



限界を迎え、腰を浮かせて肉棒を思いつき胸の谷間に突き込み射精する震える肉棒を乳房で締め付け、濃厚な精液をポンプのように吐き出していく



とろんとした表情の彼女と目が合う瞬間ソクリとした感覚が走り、尿道に残っていた精液がどぶりとあふれる





まあ、じっくり楽しむとしようか

このまま押し倒してやりたいが、
それではすべてが台無しだ
あくまで自分から股を開かせて
やらないと
身体だけでなく心まで墮とすのが
俺のやり方だからな



数日後

見るからに不機嫌だね...

むすっ...

今日はそこで立ってるだけでいいよ

あと、後ろ向いてくれるかな？

なにされるか不安なんだけど...

これでいいの...？

ガバッ

きやつ！いきなりなにすんツ——んんう！

あまっ♡

あ♡

きゅん♡

むにゅん♡

はきゅ♡

はきゅ♡

豊かに実った乳房を揉み、
手の平を滑らせていく

なんとしても認めたくなかったが、乳房を
すくい上げるように愛撫されるたび、
胸の付け根から乳首に向かって快感が走る。

前のときも思ったけど、あかねちゃん、感度いいよね

ん♡

知らないわよ！
そんな...こととッ——！

ムニゅッ♡

グニ

あまっ♡



ああ—
ちよっと!?

!!

グイッ

パッパッ
♡

あま♡



必死に耐えていたが、それも限界だった
おじさんに気持ちよくされているなんて
決して認めたくなかったのに、口からは
熱い吐息が漏れ出していた

はー♡

ふあっ—!♡

まったく、本当に
いい乳してやがる

もっ♡

ぐっ
ぐっ

たっ
たっ
たっ

あま♡

ああっ…くっ、んっ—!♡

あ♡

はー♡

慣れた手つきで
ブラのホックを外す

あっ♡

直に乳首をくりくりと摘み、擦り、撫でる
綺麗なピンク色のそれを欲望のままに弄っていく

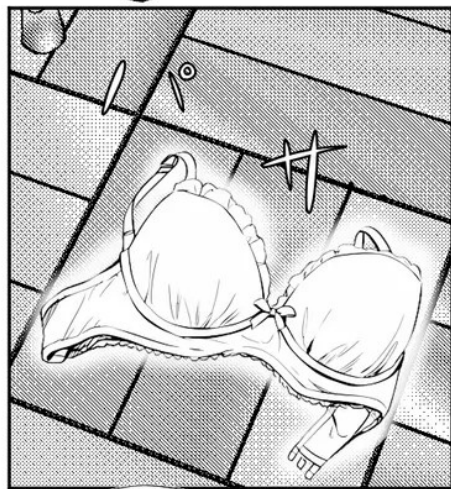
はー♡♡♡

はあっはあっ！♡

あっ♡♡♡

んっ♡

はー♡♡



こんなエロい乳は俺が
舐めてやらないとな

下から乳肉を掬い上げるように愛撫してやると
カクカクと身体を震わせ、快楽に身もだえている

もさっ♡

んっ♡♡♡

あっ♡

あっ♡♡

んっ♡♡♡

ふふふ♡♡♡

ガクッ

ガクッ

んっ♡

ぐっぐっ——
すごい気持ち良い……っ！

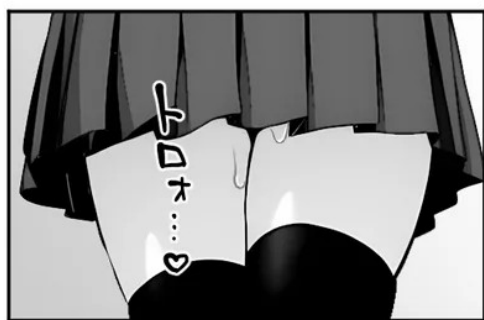
はー

ふー

ゾクゾクとした感覚が全身を駆け抜けていき
蕩けるような刺激に身体中から力が抜ける

はー





後ろから忍び寄り
熱くなっているであろう秘部に
手を伸ばす



ククッ...

それじゃあ、同時にして欲しいってこと？
意外と欲張りだねえ

モミッ
モミッ

なんで...あうっ
そう、なるのよー んんう！

くちゅっ
ぞくぞく

あ♡

あ♡



ひゅ♡

ぬちゅ♡

ぞくぞく♡

あ♡

♡

熱くぬかるんだ秘裂を刺激していく
柔肉に沈み込んだ指を割れ目に沿うように
上下させると、さらさら愛液が漏れ出して



ちゅっ♡

そんなとこ、勝手に
触らないでよ...っ！

やっぱりこっちのほうが
好きなのかな？

そういう、んうっ
意味じゃー...

ん♡

自分とはまったく違う、男の「うっ」とした
指先が大事な場所を撫であげる
直接触れられる刺激に背筋がゾクリしてしまう

ひあっ、くう...

だめ、やめてー... んんうっ！

は♡

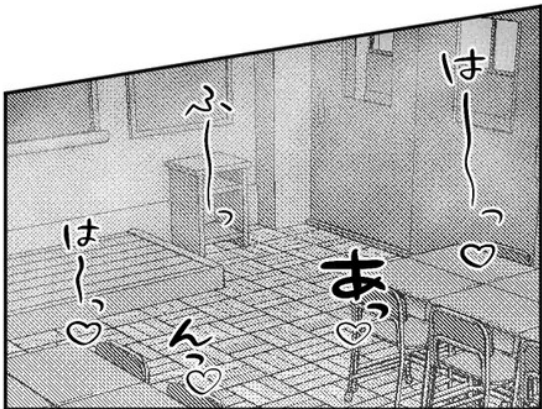
くちゅ♡

にゅ♡

にゅ♡



胸と秘部、二つの性感帯を同時に責め立ていく
繊細な柔肉を丁寧に扱いつつ、クリトリスをぐにぐにと
圧迫してやると、とがりと蜜液があふれ出す



噛み縛った唇から、吐息と一緒に声もれてしまう
腰全体に痺れるような波紋が広がっていく
耐えようとするそばから生み出される快感に
とても我慢がきかなかった



さて、そろそろいいだろう



イヤ！
それはダメッ——！



大丈夫、
挿れたり
しないよ



はッ
そんな激しくッ...んあぁっ!

はッ

はぁっ♡

はぁ

あ♡

ズキッ♡
ズキッ♡

78♡

ズキッ♡
トドロキ...♡



剥き出しの秘処にペニスを押し当て
密着させながら腰を動かしていく



おちんちんが力強く反り返り、私の熱く火照った
あそこを挟むように擦ってくる
ビクビクと勝手に腰は震え、愛液がこぼれてしまう

ぐつと突き上げられ、熱く膨れ上がったモノが私のクリトリスを
押し上げた瞬間、強烈な絶頂感が稲妻のように全身を駆け抜けた
視界が真っ白に染まるような快楽に口からだらしなく嗚咽が漏れ出す

あゝ♡

あゝ♡

くっ……！

はー♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡♡♡

あゝ♡♡♡

あゝ♡

とっぴん…！

ぴんぽん

あゝ♡

あゝ♡♡♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

ドクンッ、と大きく心臓が高鳴ると同時に、熱い快感が広がる
鼓動するように肉棒が震えるたび、粘つく体液が噴き出していく

今日のことが頭から離れない

今、思い出しても恥ずかしい
あんな声だしちゃうなんて

私…感じちゃってた
好きでもないおじさん相手に

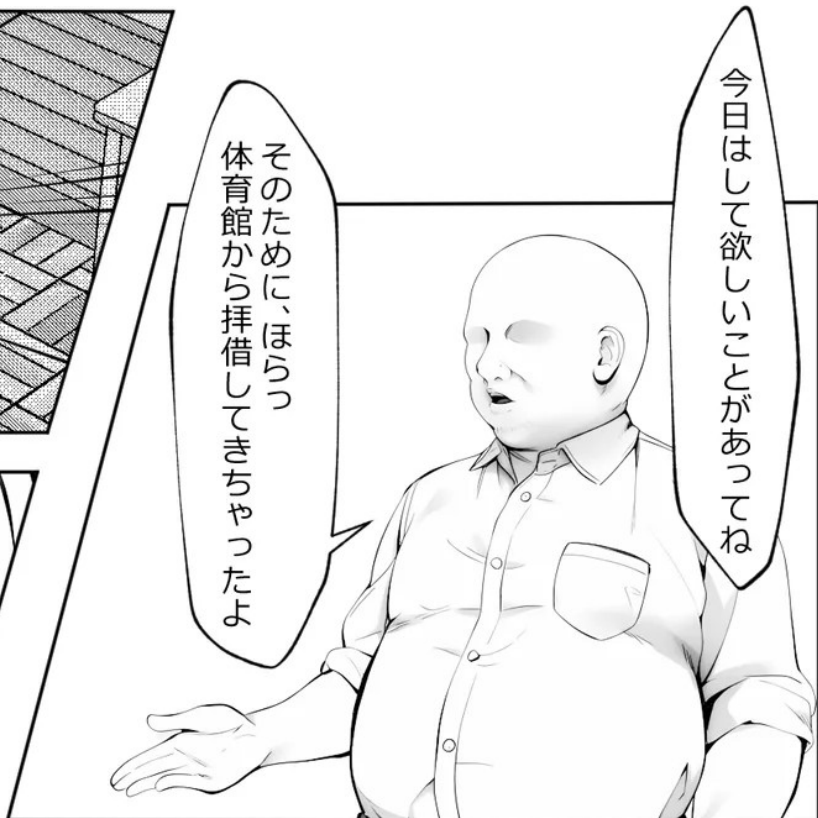
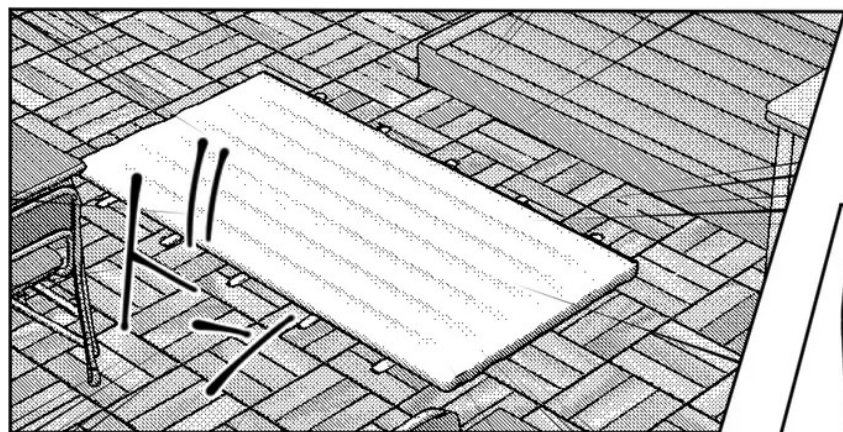
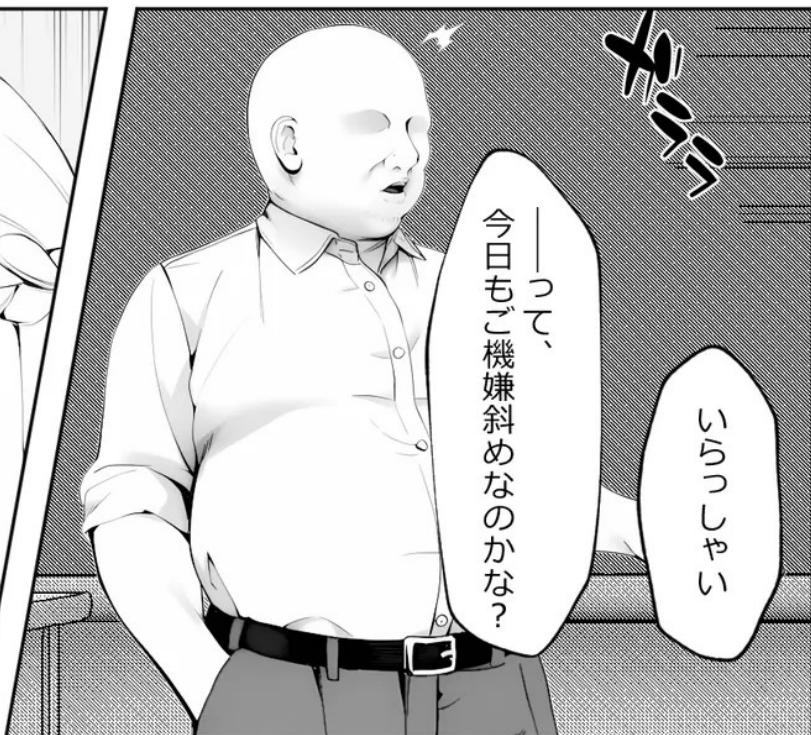
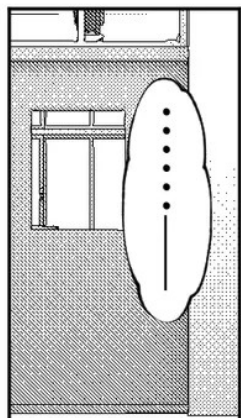
ゆったとしたときでも
あんなことなかったのに…

あつたはずの嫌悪感が
消えつつあるのを自覚し
もやもやした気分になる

えっちさせてあげたら
もっと早く返済できるのかな…

…って！

何考えてんのよ、私はッ!!



それで――

これをやらせるために
マットなんて用意したわけ？

そうなるね
あつ、スカートはちゃんと持ってたね

なあ……
ダメよ、この程度で怒っては
キリがないわ



この眺め、なかなか悪くないな

あのだあ……腕、疲れるんだけど

しり

それじゃあ、いつそスカート脱いじゃおつか

ふー

はー



結局、そつなるのな……

ぬき

ズルッ





それじゃあするよ——

本当にここまで許して良かったのか、答えはわからない
でも全ては取引を終わらせるためだと、今は自分に言い聞かせた



確かめるように指を差し込むと
きゅっさゅっ締め付けられる



やつ、ちよつと——っ！？

たまらず濡れた割れ目にむしゃぶりつき
舌や唇を使って刺激を与えていく



私のあそこをおじさんの舌が這い回る
舌先でクリトリスを転がされた瞬間
ジワッと全身から汗が吹き出した

はー♡

うん♡

んくうっ！
ふああっ——！

ん♡

ちゅる
れろ

れろ
ぱちゅ
ぱちゅ

んあっ……やつ♡

はー♡

す、ストップ！





好きなだけ気持ちよく
なっていんだよー

ハーハー♡♡♡

腰を掴み、きゅうきゅうと締まったり、
フツと緩んだりを繰り返す膣壁を擦り上げる
肉棒の先端が子宮口を叩くたびに
彼女の口から惱ましい嬌声が漏れる

あ♡♡♡♡♡

んうあつ！
あぐっ♡♡♡

ハッ♡♡♡

おっ♡♡♡

おっ♡♡♡

ハー♡♡♡

あ♡♡♡

奥、当たるの……ッ♡♡♡
気持ちいい！♡♡♡

あ♡♡♡

ハッ♡♡♡

ハッ♡♡♡



あ♡♡♡

あ♡♡♡

キゅ♡♡♡

キゅ♡♡♡

グッ♡♡♡

ハッ♡♡♡

ん♡♡♡♡♡

ハッ♡♡♡

グッ♡♡♡

ハッ♡♡♡

グッ♡♡♡

グッ♡♡♡

グッ♡♡♡

グッ♡♡♡

グッ♡♡♡

グッ♡♡♡

私の^{なか}膣内はもはやした想いなど無関係に
収縮し、おしさんのおちんちんを抱きしめる
的確に弱い場所を責められ身体が熱くなっていく



バチバチと頭の中で火花が散つた
身体の芯から激流のような快楽が
押し寄せ、息が詰まるような絶頂を迎える

おおっ……出るウツ！

膾道のぞらついた天井部分をカリでゴリつと削り上げた瞬間、彼女の全身が跳ね上がる強烈な締めつけのなか更に深く肉棒を押し込む



そしたらまた、30万返済ねって
言えばいいんだ

ニヤ
ニヤ

どうせ我慢
できないだろうし

私って結構、冴えてる？

ふふ、意外と早く
返済終わっちゃったかも

しかし、そんな私の考えとは反対に
おじさんからの連絡はなかなか来なかった

3日後

さすがに、そんな早く
来ないか……

7日後

ムズ
ムズ

10日後

……

2週間後

カラッ!!

ちよっとツッ!!

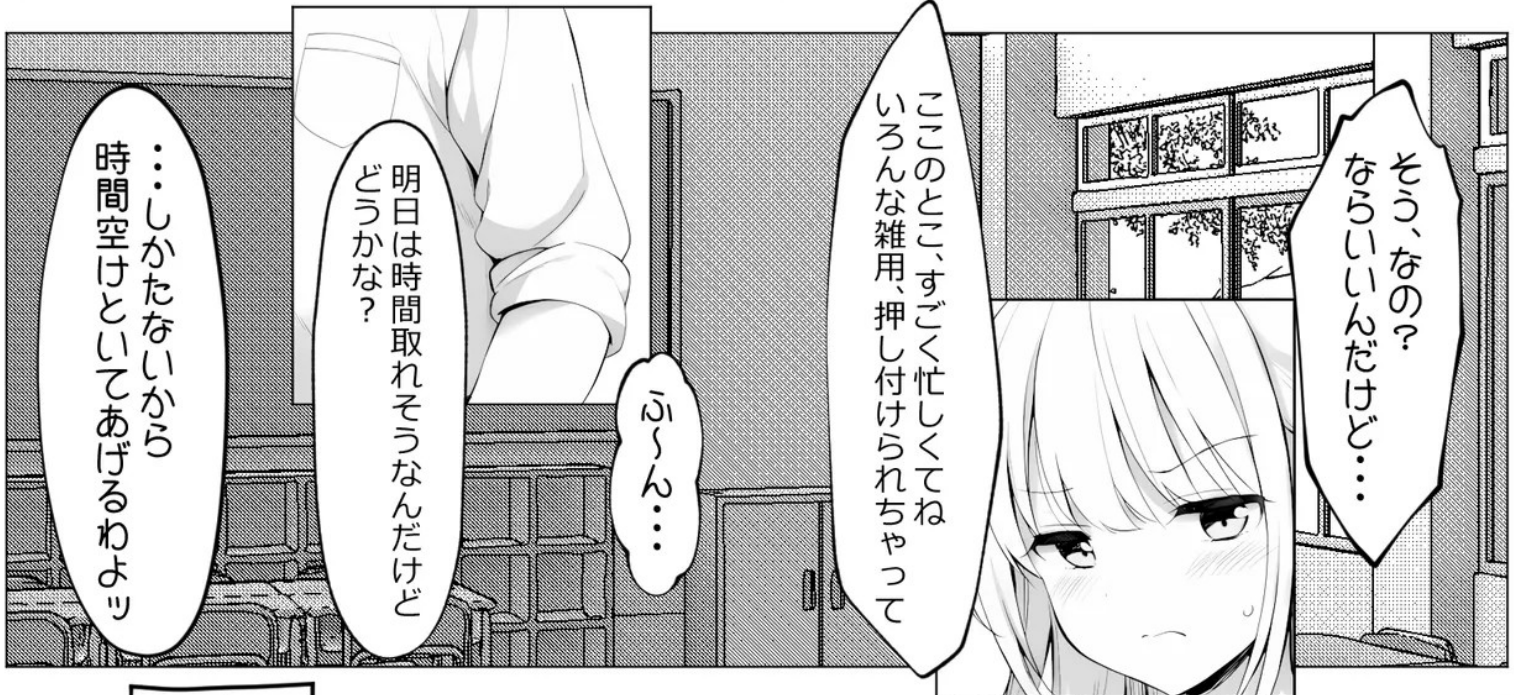


え？ちゃんと
治療費は払ってるけど

取引はどうなったのよ！
まさか、途中でやめたとか
言わないわよね？



びっくりした、
どうしたんだい？



そう、なの？
ならいいんだけど...

このところ、すごく忙しくてね
いろんな雑用、押し付けられちゃって

ふん...

明日は時間取れそうんだけど
どうかな？

...しかたないから
時間空けといてあげるわよッ



行くわけ無いでしょ！
そんな言葉が頭をよぎる
でも今の私は...

待ってるよ

それじゃあ今から行くから

明日さ、学校だと絶対安全
って訳じゃないから

ホテル行かない？

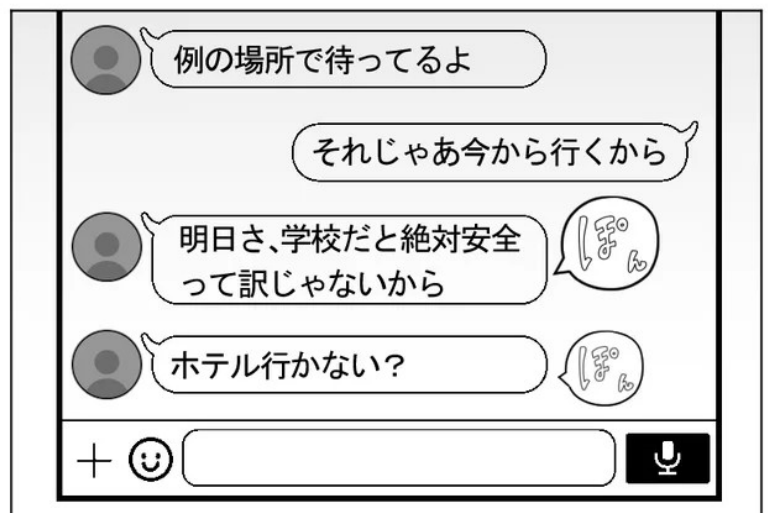
わかった...



その日の夜

明日
やっと...

こんな時間に
通知って誰よ？



例の場所で待ってるよ

それじゃあ今から行くから

明日さ、学校だと絶対安全
って訳じゃないから

ホテル行かない？

ふん

ふん

次の日

ガ
ヤ

ガ
ヤ

ガ
ヤ

ガ
チャッ

ふうん
意外と普通ね

もしかして、回転するベッド
あると思った？

なっ！ち、違うわよ！

そうだけど……！



はあ、やっぱりあかねちゃんのおっぱいは素晴らしいね

ガ
シッ

あッ

あッ

むにゅ♡

ちよっとッ！その……

シャワーとかはッ！？

少し触られただけなのに……
身体が、敏感になってる！

あ♡

は♡



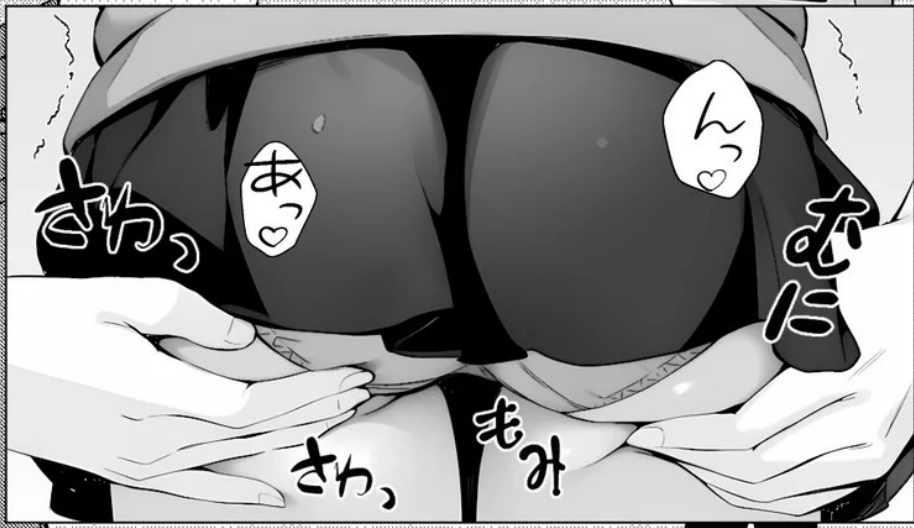
むにゅ♡

ん♡

もみ

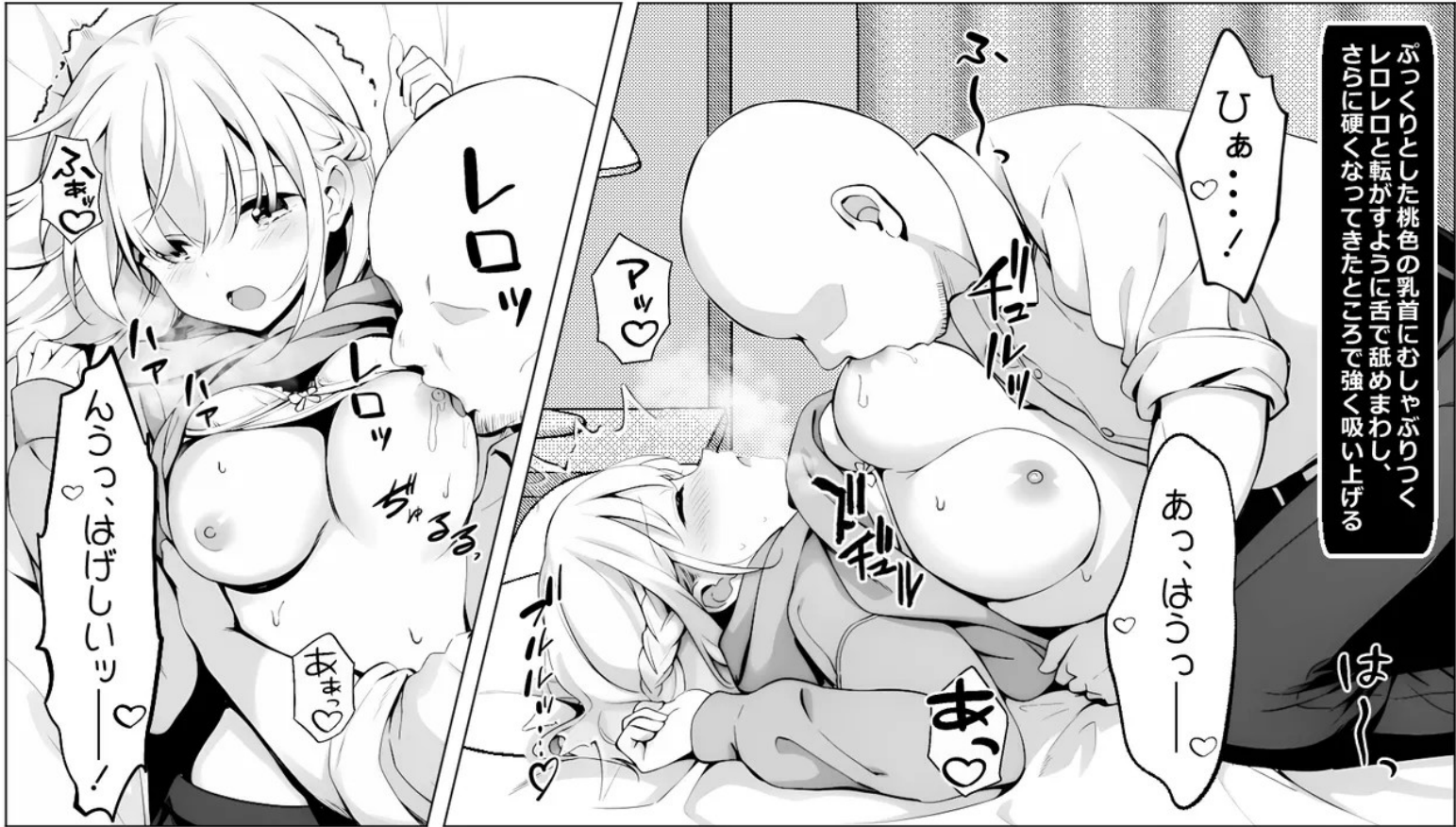
さわ、

さわ、





ぶつくりとした桃色の乳首にむしゃぶりつく
レロレロと転がすように舌で舐めまわし、
さらに硬くなってきたところで強く吸い上げる



おじさんの舌が大切な部分をもみほぐすように蠢く
下半身から力が抜けていくような刺激に声がもれ、
腰全体に痺れるような波紋が広がる



今日は後ろからしたいんだけど
どうかな？

…うん



すっかりほぐれて
これなら問題なさそうだな



そろそろいいかな？



心臓がドクドクとうるさい
30万返済のことが頭をよぎるが、
もうどうでもよくなっていた



こうして堕ちていく女を
見るのがたまねえんだよねあ

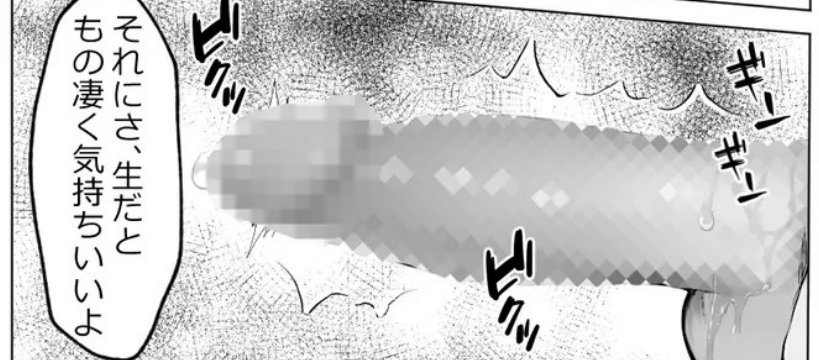
全部、取引が終わるまでだから…

ちよっとぐらいい
気持ちよくなってもいいよね



はぁ

秘裂から漏れ出した蜜液を肉棒に塗りたくっていく
そのたびに震える彼女の肢体に思わず笑みがこぼれる





絶頂を迎えた膣内はグイグイ締め付け
さらに無数の柔壁が肉棒に殺到する
汗ばんだ肌、ふくよかな胸、熱い吐息
とろける蜜壺、すべてが昂奮を煽る

今日はじっくりやる
必要ないよな



はあっ、はあっ——！

なに…これ？
ゴムないだけで
こんなに違うの？

はー

はー

はー



あぐうう——！ 待って、
いったばかりだった—— ああああっ！



気持ちいいー！

あー

気持ちいいー！

上下だけでなく、大きな円を描くように腰を動かされ
どろどろに蕩けた膣内をかき混ぜられる



っああ！奥っ、当たってるう！
こんなの、おかしくッ—— ああッ！！

はあ

チャッ





おっぱい♡♡

はやる
ドクン
ドクン

ドクン♡

はやるん...♡
ドクン

ぐっ、ぐっ...!!

ドクン

はやる!!

はやる!!

はやる!!

ドクン、というペニスの脈動とともに、膣奥めがけて
煮え滾った白濁液が叩きつけられる
今までの絶頂を遥かに凌駕する快楽の火花が頭の中を散った

それから、まるで動物のように
互いの身体を求めあった

っああ…気持ち、いい—！

舌が絡め合うと何も考えられなくなってくる
身体はますます熱っぽくなり、おちんちんに
媚びるようにぎゅっぎゅっと締め上げてしまっ



愛液と精液が混ざり合った汁を垂れ流しながら
乳房を鷺掴みにし、蜜壺を容赦なく蹂躪していく

んじゅっ、おじさんのキス
すごーに優しい…

グンニニ♡

チン♡

ちゅっ♡

もみ

ちゅっ♡

グンニニ♡

チン♡

はあ♡

えろっ♡

キスってこんなに
気持ちいいんだ…



でもこれも、
あと少しで終わる...

今になって
すごい罪悪感が...



はあ—



かチャッ



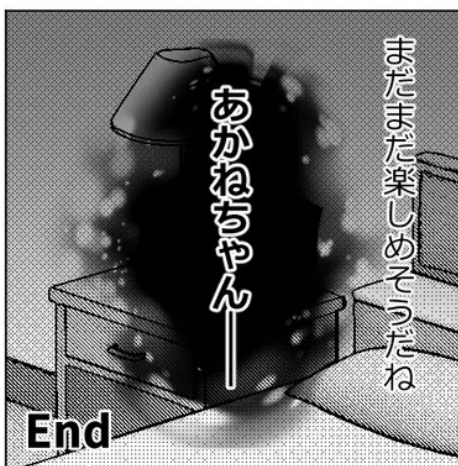
あと彼のケガ、早く治るといいね

今日はお疲れ様
返済もあと3分の1だから頑張つてね

...うん



それじゃあ、私帰るから—



あかねちゃん—

まだまだ楽しめそうだね

End



君の身体は俺とのセックスを
覚えちゃったからなあ

くくく...

返済が終わったとして
すべて丸く収まるかな？



おたん

あとがき

心機一転、再スタートからの初漫画作品いかがでしたでしょうか？

まだまだ試行錯誤中ですが、
少しでも楽しんでいただけたら嬉しいです。

精神的に攻めてくるおじさんって面白そう・・・という思いつきから
考え始め、流行りの催眠などは使わず、今回はじめじめヒロインが
追い詰められる——そんな展開になりました。

ではでは、また次の作品で♪ノリ



マスコットのなやつ(仮)